

会派調査（研修）報告書

令和 5年 10月 23日

胎内市議会議長
小野 徳重 様

(報告者) 会派名 公 明 党

代表者名 渡 辺 栄 六

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 5年 10月 10日 至 令和 5年 10月 12日 2泊3日(3日間)	調査・研修 場 所	長崎県五島市 福岡県大川市
調査・研修 事 項	五島市 大川市	五島市における再生可能エネルギー等の取組 子育て支援総合施設「モッカランド」について	
調査・研修 出 席 者	渡辺栄六 (政和会) 天木義人 小野徳重 森本将司 坂上隆夫		
相 手 方 (対応者)	五島市： 市議会 議長 木口 利光 議会事務局長 山本 強 議会事務局 久保 源輝 総務企画部 坂井 翔希 大川市： 市議会 副議長 古賀 寿典 議会事務局長 和田 孝紀 議会事務局次長 龍 輝洋 子ども未来課 課長補佐 宮崎 朱美 子育て支援総合施設長 古賀 章子		

調査の結果または概要

【五島市】 国内初の洋上風力 FIT が適用された洋上発電所として 2016 年に商業運転が開始され、(2 メガワット発電能力) 8 基程度のウインドファームは再エネ海域利用法における促進区域の指定を受け、(2024 年運転開始予定) 事業化を目指している。

また、海洋再生可能エネルギーの実用化に向けた環境省・経済産業省連携事業の実証事業を開始し、潮流発電システムの早期実用化に取り組んでいる。

「再生可能エネルギーの島づくり」を五島市の主な施策として、市内再エネ自給率を約 80%と見込んでいる。

五島市の観光施策として、日本遺産、世界文化遺産、日本ジオパークに認定・登録された観光資源の磨き上げや、受け入れ体制整備を実施。NHK で放映された連続テレビ小説「舞いあがれ！」などを五島市の観光振興につなげている。

【大川市】 妊娠期から子育て期まで、子どもと家庭を支援する拠点施設として、子育て支援総合施設「モッカランド」が 2021 年に開設した。

市内に分散していた子育て施設が老朽化したため、総事業費 7 億 9 千万円をかけ新設し、「子育て世代包括支援センター」「子ども家庭総合支援拠点」「児童発達支援」の 3 機能を集約。保健師や保育士、家庭児童相談員ら専門スタッフが常駐し、医師とも連携して支援に繋げている。

施設内には交流イベントができる多目的ホールのほか、お茶を飲んだり、軽食とったりできる「モッカフェ」があり、フリーwifi が完備されたコワーキングスペースはテレワークにも利用ができ、働くパパママを応援している。

調査の所見・感想

【五島市】 五島市は、地球温暖化対策として浮体式洋上発電や、潮流発電事業の導入などを推進し、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロの早期実現を目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明している。

市内には、洋上風力発電や潮流発電のほか、陸上風力発電、太陽光発電、水力発電、バイオマス発電などといった「島まるごとカーボンニュートラル」で地球環境にやさしいまちづくりに取り組んでいる施策は、先進的事例として国内においても大いに推進していくべきである。

【大川市】 「モッカランド」の周辺にはグランドゴルフができる屋外施設やテニスコート、公園、図書館が併設しており、それらの施設を利用した方が「モッカフェ」でランチをするなど相互利用の場となっている。

来館者は、大川市だけではなく隣接している柳川市や、久留米市、佐賀市などといった市外からも訪れ、利用状況は 2023 年 8 月で来館者累計 7 万人に到達した。

子育て支援期をワンストップで支援し、子どもから高齢者まで幅広い市民の交流の場として理想的な施設である。